Hitachi Koki

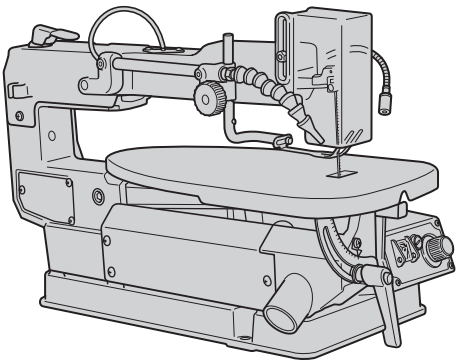
形　名

FCW 40SA

取扱説明書

日立卓上糸のこ盤

このたびは日立家庭用卓上糸のこ盤をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



用途

- 木材の直線切りや曲線切り
- 木材の窓抜き加工など

はじめに

電動工具の安全上のご注意 ……1
卓上糸のこ盤の使用上のご注意 ……4
各部のなまえ ……6

準備

ご使用前の準備 ……7
ご使用前の点検 ……8
卓上糸のこ盤の設置 ……9

使いかた

切断する ……11
糸のこ刃を取り替える ……15

その他

点検・お手入れする ……19
別売部品の紹介 ……20
故障かな…というときは ……21
仕様 ……21
アフターサービスについて ……21

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠警告

① 作業場は、 いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。

⑤ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⚠警告

⑥ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑦ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑧ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑨ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⑩ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑪ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑫ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑬ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑭ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⚠警告

⑮ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑯ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑰ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑱ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑲ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑳ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

㉑ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。

⚠警告

- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉒ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉓ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお申しつけください。
  ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

卓上糸のこ盤の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、卓上糸のこ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

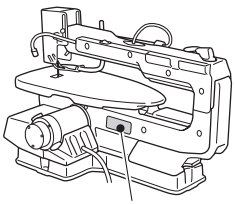
⚠警告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、火災やけがの原因になります。

② 金属系材料（鉄、アルミ、銅）など用途以外の材料を切断しないでください。

- 金属の切りくずが周囲に飛散し、火災やけがの原因になります。



⚠警告

③ **使用中は、機体を安定した水平な場所に設置してください。**
- 確実に設置していないと、けがの原因になります。

④ **使用中は、糸のこ刃に手や顔を近づけないでください。**
- けがの原因になります。

⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、糸のこ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑦ **継ぎ（延長）コードを使用するときは、アース線を備えた 3 心キャブタイヤケーブルを使用してください。**
- アース線のない 2 心コードですと、感電の原因になります。

⚠注意

① **糸のこ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

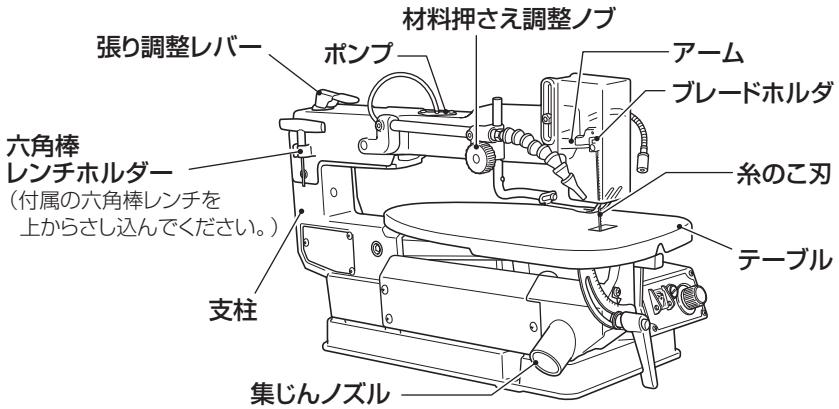
② **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**
- 糸のこ刃の破損だけでなく、思わぬけがの原因になります。

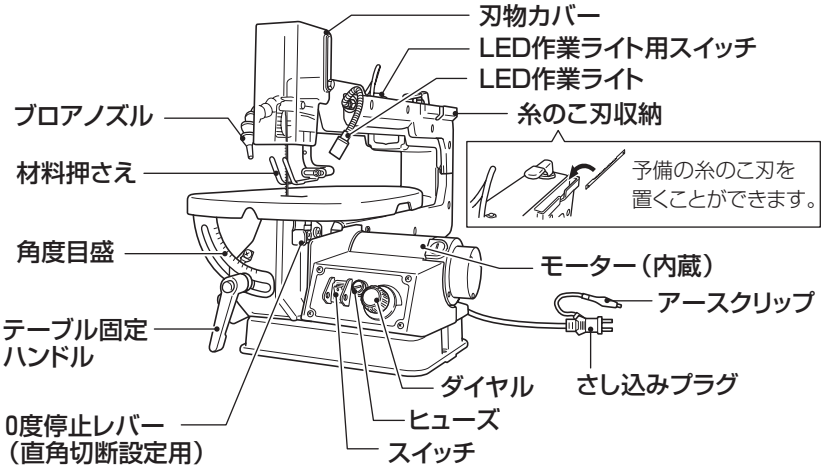
③ **糸のこ刃でコードを切断しないように注意してください。**
- 感電の原因になります。

④ **運転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑤ **機体を持ち運ぶときは、支柱をしっかり持って運んでください。**
- アームやアームカバーなどを持って持ち運びすると、アームを折るばかりでなく、けがの原因になります。

各部のなまえ



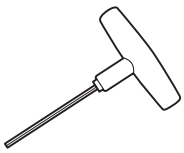


付属品

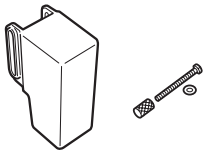
糸のこ刃
（ピンエンドタイプ）72山　2本※
（ストレートタイプ）60山　3本
※内、1本は本体装着

（図はピンエンドタイプ糸のこ刃）

六角棒レンチ



刃物カバー
（ロングボルト、
ワッシャ1個、
ローレットナット付き）



ご使用前の準備

ご使用の前に漏電しゃ断器を設置し、継ぎ(延長)コードを用意してください。また、作業場は整頓し、明るくしてお使いください。

⚠警告

- さし込みプラグの先端のアースクリップ、アース線は、念のため異常のないことを確認してから使用してください。地中に接地極(アース板、アース棒)を埋めるなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので電気工事店にご相談ください。なお、アース線をガス管に取付けることは事故の原因になるので、絶対にしないでください。

●漏電しゃ断器を設置します

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器を設置してください。
この機体が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下、漏電しゃ断器と言います。)が設置されているか、確認してください。
また、この機体は必ずアース(接地)をしてください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようにおすすめします。

●継ぎ(延長)コードを用意します

⚠警告

- 継ぎ(延長)コードは損傷のないものを用意してください。
- 必ずアース(接地)できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ(mm²)	最大の長さ(m)
0.75	20
1.25	30
2	50

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

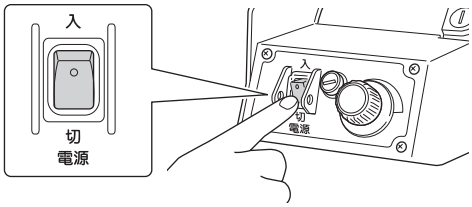
ご使用前の点検

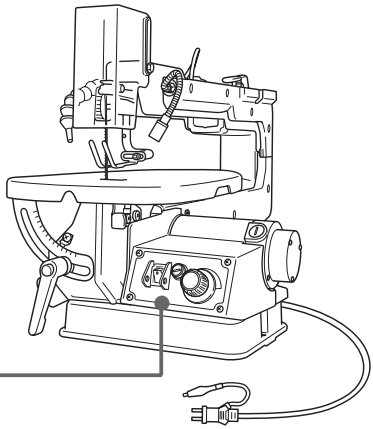
⚠警告

・ご使用前に次のことを確認してください。❶～❷項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

❶ スイッチが切れていることを確かめる

●スイッチが入っているのを知らずに、さし込みプラグを電源コンセントにさし込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。スイッチが切側であることを確認してください。





❷ 電源を確かめる

●お求めの卓上糸のこ盤は100Ｖ用です。
200Ｖ電源、直流電源に接続すると、製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

❸ コンセントを確かめる

●電源コンセントががたついたり、さし込みプラグが抜けやすかったり、アース（接地）端子が不完全なようだと修理が必要です。
お近くの電気工事店にご相談ください。そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

卓上糸のこ盤の設置

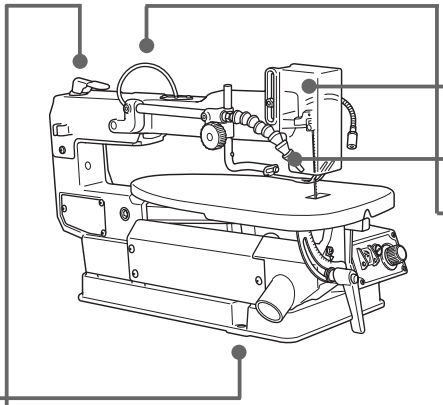
⚠警告

・万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1 糸のこ盤を作業台に固定する

●糸のこ盤は作業中、上下振動を起こしますので、頑丈な作業台に固定して使用することをお勧めします。

糸のこ盤の固定用穴を利用し、作業台に合ったボルトなどで糸のこ盤を固定してください。



2 糸のこ刃の張りを調整する

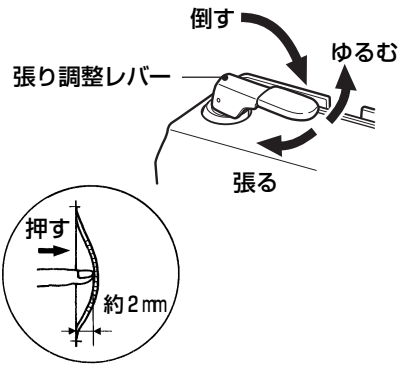
●購入時には、ピンエンドタイプ（72山）の糸のこ刃が取付けてあります。

張り調整レバーを倒し、糸のこ刃に張りをもたせます。

張り調整レバーを回し、張りを調整してください。

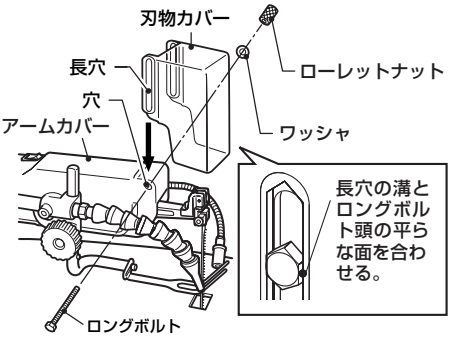
糸のこ刃を横から指で軽く押したとき、約2㎜たわむのが張りの目安です。

ストレートタイプ（60山）に取り替える場合は、15ページ「糸のこ刃を取り替える」の項をご覧ください。



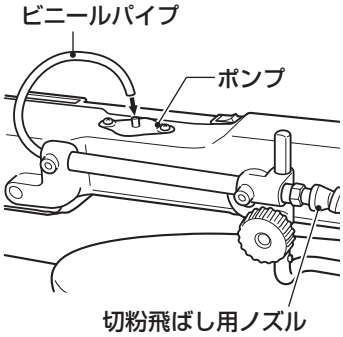
3 刃物カバーを取り付ける

●アームカバーの穴に刃物カバーの長穴を合わせて、ロングボルトで仮固定します。



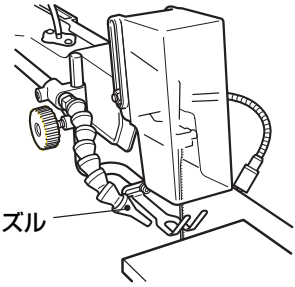
4 ビニールパイプを取り付ける

●切粉飛ばし用ノズルにつながるビニールパイプをポンプの突起部にさし込みます。



5 切粉飛ばし用ノズルの位置を調整する

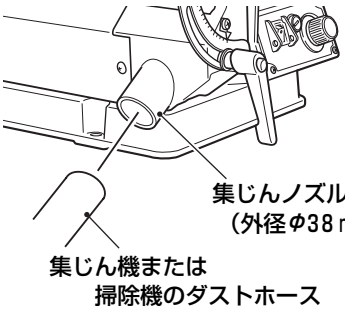
●切粉飛ばし用ノズルを切断部に向けて設置します。作業中、切粉などで下書き線が見えにくくなることを防ぎます。



準備

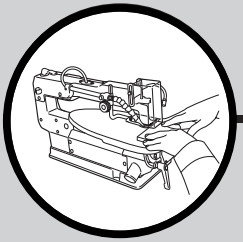
●集じん機を使うとき

本機は、集じん機や掃除機のダストホースを取り付けるための取付口を設けてあります。集じん機または掃除機のダストホースを本機の集じんアダプタと接続します。集じん機や掃除機をお使いになると切りくずが飛散せず便利です。
お持ちの集じん機や掃除機によっては、ダストホースとの接続部がゆるいものもありますので、ガムテープなどを巻き付けて固定します。



⚠警告

- **金属系材料など用途以外の材料を切断しないでください。**
  切断時の切り粉により、集じん機や掃除機が発煙、発火する恐れがあります。



切断する

必ず以下の手順を守って、安全にお使いください。

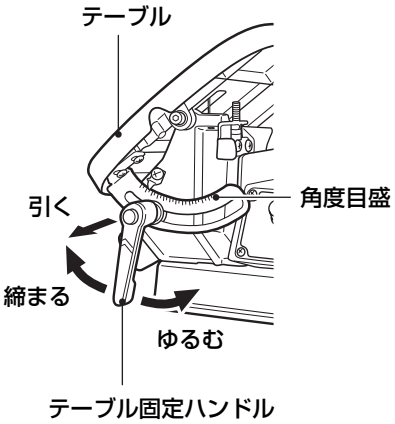
材料に合わせて調整する

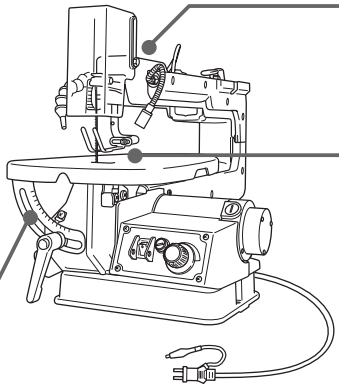
⚠警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

1 テーブルの角度を調整する

●テーブル固定ハンドルをゆるめ、右下がり 15 度から左下がり 45 度の範囲で、お好みの角度に角度目盛を合わせ調整します。





0 度切断（直角切断）時には 0 度停止レバーを使用すると、簡単に精度良く 0 度調整ができます。

注 購入時には、0 度停止が設定されています。右下がりにしたいときには、0 度停止レバーを解除します。（14 ページ「0 度停止レバーの使いかた」を参照）

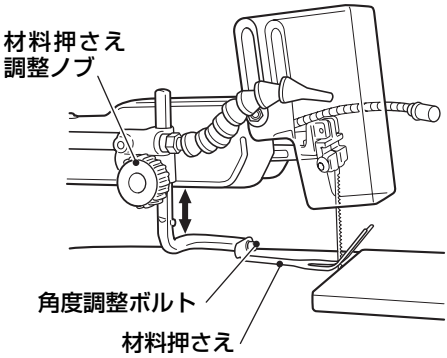
⚠注意

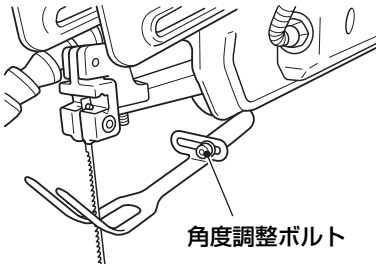
・材料押さえの位置を調整した後、材料押さえ調整ノブや角度調整ボルトの締め付けをしっかりと行なってください。
材料押さえがブレードに接触し、思わぬ事故の原因になります。

2 材料押さえを調整する

●高さ調整
材料押さえ調整ノブをゆるめ、材料押さえの高さを、加工材の厚さに応じて高さを調整し、ノブを締め付けます。

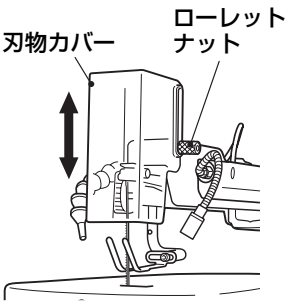
●角度調整
付属の六角棒レンチで、角度調整ボルトをゆるめ、材料押さえ板の角度を調整します。





3 刃物カバーの高さを調整する

●ローレットナットをゆるめ、加工材の厚さに応じて高さを調整します。調整後、ローレットナットを十分に締め付けて位置を固定します。



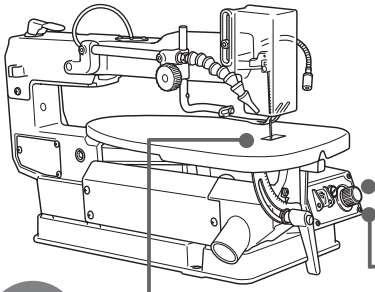
切断する

⚠警告

- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

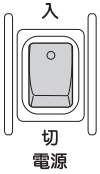
⚠注意

- ブレードがしっかりと取付けてあることを確かめてください。
- 切断中にスイッチを切ると、糸のこ刃が加工材に入ったままになり、加工材が抜けなくなることがあります。また、再度スイッチを入れたとき、モーターに無理な負荷がかかります。必ず糸のこ刃から加工材を離して、スイッチの入・切を行なってください。

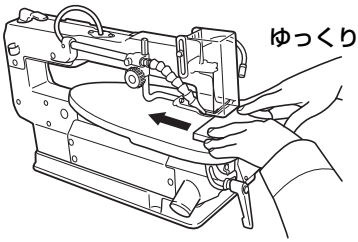


1 スイッチを入れる

●スイッチの入側を押すとモーターが起動し、切側を押すと切れます。



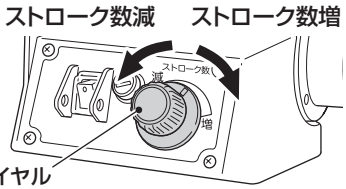
3 切断する



加工材は、両手でしっかり支え、ゆっくり送ります。無理に速く加工材を送ると、切り口がきたなくなるばかりでなく、糸のこ刃に負荷がかかり、糸のこ刃が折れやすくなります。切断後は、糸のこ刃から加工材を離してからスイッチを切ります。

2 切断速度を調整する

●ダイヤルを右に回すとストローク数（糸のこ刃の往復回数）が増え、左に回すとストローク数が減ります。
加工材・用途に合わせ、ストローク数を調整してください。



0度停止レバーの使いかた

購入時は 0 度停止レバーが、 0 度停止の位置にあります。

●0度停止レバーを解除する

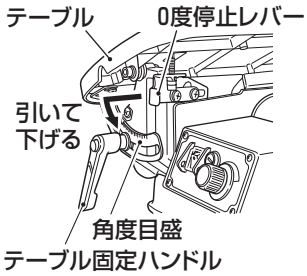
右下がり切断をする場合に解除してください。

① テーブル固定ハンドルをゆるめ、テーブルを左下がり 30 度程度にします。

② テーブル下の 0 度停止レバーを手前に引き、そのまま下へ下げます。

② 0 度停止レバーはそのままの状態で、角度目盛を見ながらテーブルをお好みの角度に合わせます。

④ テーブル固定ハンドルを締め付けて固定します。



●0度停止レバーを設定する

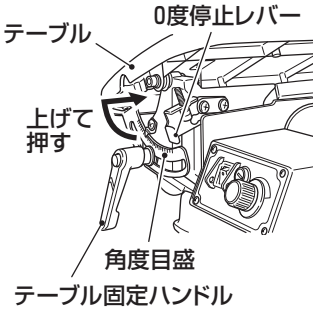
長時間 0 度切断（直角切断）をする場合に設定すると便利です。
0 度停止レバーを設定しても左下がりの角度切断は可能です。

① テーブル固定ハンドルをゆるめ、テーブルを左下がり 30 度程度にします。

② テーブル下の 0 度停止レバーを引き上げ、そのまま機体方向奥へ十分に押し込みます。

③ テーブルを 0 度の位置へ戻し、十分に押し付けます。

④ 角度目盛が 0 度であることを確認してください。

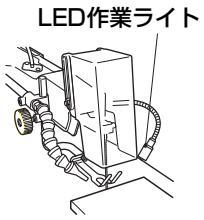


LED作業ライトの使いかた

手元が暗く、下書き線が見にくいときなどにご使用ください。

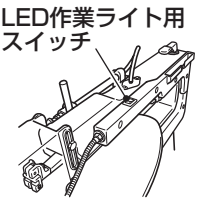
1 LED作業ライトの位置を決める

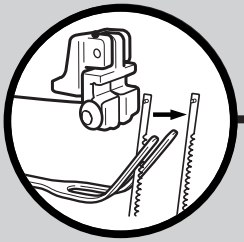
●LED作業ライトを切断部に向けて設置します。



2 LED作業ライトを点灯する

●アーム部上面に設けられたLED作業ライト用スイッチを入れます。





糸のこ刃を取り替える

切断する材料に合わせて糸のこ刃を取り替えます。

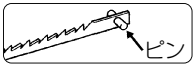
⚠警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

- 刃先で指を切らないように注意してください。
- 糸のこ刃を取りはずしたまま、糸のこ盤を運転しないでください。
  製品の損傷を生じるだけでなく、思わぬ事故の原因になります。

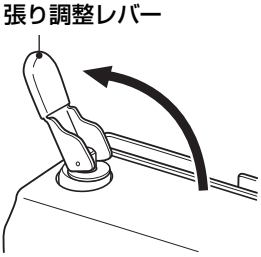
ピンエンドタイプの場合



購入時は、ピンエンドタイプの糸のこ刃が取付けてあります。糸のこ刃の張り具合をお確かめの上、お使いください。

●糸のこ刃の取りはずし

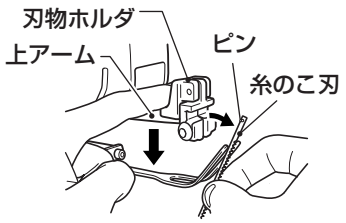
1 糸のこ刃の張りをゆるめる



2 糸のこ刃を抜き取る

①上アーム先端を押し下げて、刃物ホルダからピンをはずします。

②下アームからも同様にピンをはずし、糸のこ刃を取りはずします。



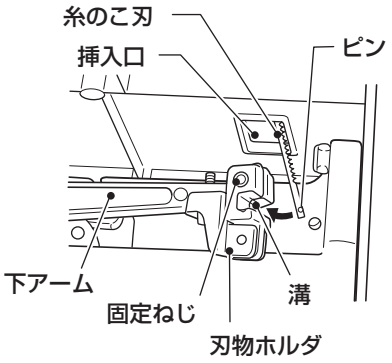
●糸のこ刃の取付け

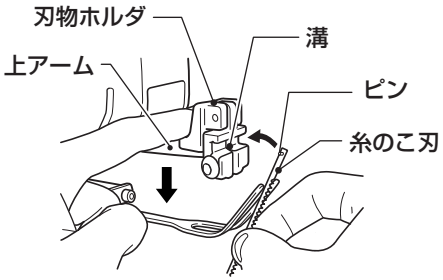
1 糸のこ刃を取付ける

① 糸のこ刃の刃先方向を下に向け、テーブルの挿入口より糸のこ刃を挿入します。

② 下側のピンを下アームの刃物ホルダの溝に掛けます。

③ 上アーム先端を軽く押し下げて、糸のこ刃の上側のピンを上アーム先端の刃物ホルダの溝に掛けます。





固定ねじがゆるんでいると運転中に固定ねじがはずれることがあります。
ピンエンドタイプの糸のこ刃を使用するときは、固定ねじを軽く締めるか、または取りはずして糸のこ盤を使用してください。

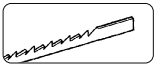
2 糸のこ刃の張りを調整する

9ページ「糸のこ刃の張りを調整する」の項を参照して調整します。

⚠注意

- 張りがゆるすぎても、きつすぎても、糸のこ刃は折れやすくなります。使用する前に、必ず糸のこ刃の張りを調整してください。

ストレートタイプの場合



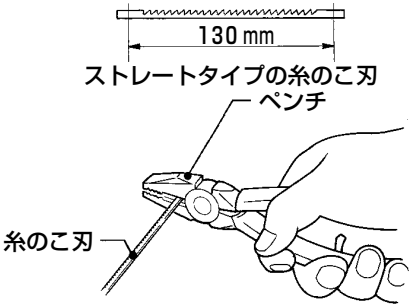
●糸のこ刃の取付け

⚠注意

- 糸のこ刃を切断する際は、切れた端が飛び散ることがあるので、保護メガネを使用してください。

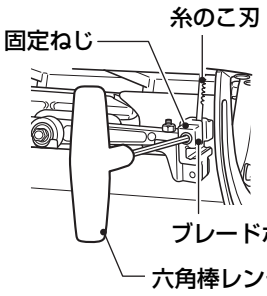
1 糸のこ刃の長さを130mmにします

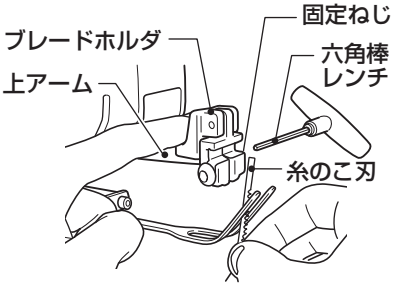
① 付属品は、130 mmですが、市販されているストレートタイプの糸のこ刃をお使いになるときは、長さが130 mmとなるように両端を均等にペンチなどで切断します。



2 糸のこ刃を取付ける

① 張り調整レバーを起こし、アームの固定をゆるめます。
② 糸のこ刃の刃先方向を下に向け、テーブルの挿入口より糸のこ刃を挿入します。
③ 上下アーム先端のブレードホルダのすき間に、それぞれ糸のこ刃の端部を合わせ、下アーム先端のブレードホルダの固定ねじを付属の六角棒レンチでしっかりと締め付けます。
④ 上アームの先端を軽く押し下げて、上アーム先端のブレードホルダの固定ねじをしっかりと締め付けます。





⚠注意

• 糸のこ刃の固定がゆるいと、運転中に糸のこ刃がはずれることがあります。

注 糸のこ刃は、ブレードホルダをまっすぐな状態にして取付けてください。まがって取付いた状態で運転すると、糸のこ刃の寿命が短くなることがあります。

3 糸のこ刃の張りを調整する

9ページ「糸のこ刃の張りを調整する」の項を参照して調整します。

●糸のこ刃の取りはずし

取りはずしは、取付けの逆の手順で行なってください。

点検・お手入れする

⚠警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

- ヒューズは、本機の仕様にあったものをお使いください。
  （21 ページ「仕様」を参照）
- ヒューズを交換しても、またすぐにヒューズが切れる場合は、故障の恐れがありますので、お買い求めの販売店、または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。

ヒューズの交換

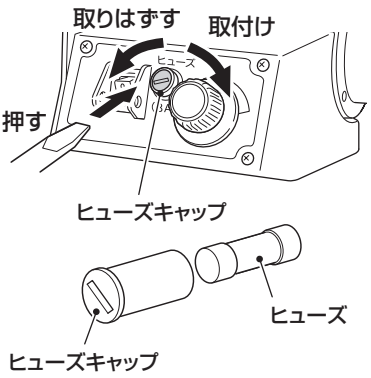
モータや電気部品を守るために、本機にはヒューズが取りつけられています。ヒューズが切れたときは、下記の手順により交換してください。

● ヒューズの取りはずし

1. ヒューズキャップを、マイナスドライバーなどで押しながら、反時計周りにまわして取りはずします。
2. ヒューズキャップといっしょにヒューズが取り出せます。

● ヒューズの取付け

1. ヒューズキャップにヒューズを差しこみます。
2. ヒューズキャップを本体へ差しこみ、押しながら時計方向にまわして取付けます。



糸のこ刃の点検

● 切れなくなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。
新品と交換してください。

取付けねじの点検

● 時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。

機体はきれいに

● 使用後は、切りくずなどを取り除いてください。

保管場所について

次の場所には保管しないでください。
● お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
● 直射日光の当たる所。
● 軒先など雨がかかったり、湿気のある所。

別売部品の紹介

日立電動工具販売店でお求めください。
（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）
作業の能率や仕上げをよくするために、切断する材料の厚さに合った糸のこ刃をお選びください。

糸のこ刃（ピンエンドタイプ） 60 山	糸のこ刃（ピンエンドタイプ） 72 山

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合せください。

症　　状	考えられる原因	処　　置
動かない。	・電源プラグがさし込まれていない。	・電源プラグをコンセントにさし込んでください。
切断が上手にできない。	・糸のこの刃が古くなっている。	・新しい糸のこの刃と交換してください。

仕　　様

形名	FCW 40 SA
使用電源	単相交流 50 ／ 60 Ｈｚ 共用　　電圧 100 Ｖ
無負荷ストローク数	400 ～ 1600 min^{-1} {400 ～ 1600 回／分}
切断能力	50 mm
ふところ寸法	406 mm
ストローク量	19 mm
テーブル傾斜	左 45° ～右 15° （0° 停止機構付き）
全負荷電流	0．84 Ａ
消費電力	80 Ｗ
モーター	単相直巻整流子モーター
ヒューズ	φ 5．2 × 20 mm　定格 3 Ａ　125 Ｖ
機体寸法	幅 280 ×奥行 545 ×高さ 320 mm
質量	14 ｋｇ
コード	アースクリップ付き 3 心キャブタイヤケーブル 1．8 m

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。
正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。
また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

卓上糸のこ盤の相談と修理の窓口

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

卓上糸のこ盤についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

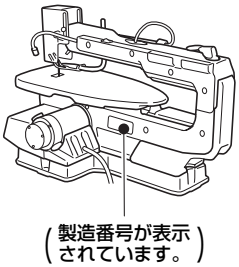
お住まいの地域	窓口の所在地	支店（部）名	電話番号
全　国	港　区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 896 - 1740
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙 台 市	東　北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以東	台 東 区	関　東	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名古屋市	中　部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北　陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	西 宮 市	関　西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中　国	(082) 504 - 8282
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四　国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九　州	(092) 621 - 5772

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前 9：00 ～ 午後 5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

お客様メモ

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日
販売店名	☎(　　)　　—
製造番号(No.)	

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前 9：00 ～ 午後 5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15 -1（品川インターシティ A 棟）
国内営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

008
部品コード　C99140204 Ō